



2023年10月31日

各 位

会社名 株式会社 ジーニー
代表者名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問合せ先 上級執行役員(CFO)兼 菊川 淳
投資戦略部部長
(TEL. 03-5909-8177)

連結子会社JAPAN AI株式会社による資本業務提携に関するお知らせ

当社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤智昭)の連結子会社であるJAPAN AI株式会社(以下、当該子会社)は、以下のとおり、株式会社REGAL CORE(本社：東京都、代表取締役社長：田之上隼人、以下REGAL CORE)との間で、リーガルチェック事業に関して本日付で資本業務提携契約を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本業務提携の理由

近年の消費生活のデジタル化の進展に伴い、インターネット広告市場は、著しく拡大し複雑化しています。本年10月1日から、消費者庁の景品表示法の一部が改正され、ステルスマーケティング(※)の規制が始まり、広告クリエイティブの運用には継続的にリーガルチェックを行う必要性がますます高まっています。

REGAL COREは薬機法・景品表示法・特定商品取引法に基づき、弁護士及び薬剤師が広告の商品説明やキャッチコピー、文言などの表現の法的妥当性をチェックするサービスを提供しております。

また、当該子会社は、ChatGPTを搭載した社内AIアシスタントサービスをはじめ、生成系AIを利用したプロダクトの開発・販売を行っています。

このような背景から、薬機法・景品表示法等に基づく、広告クリエイティブのリーガルチェックを行うREGAL COREとの資本業務提携を通じ、当社子会社が当サービスを一部自動化するAIプロダクトの開発し、よりスピーディーなサービス提供の実現にむけて、当社子会社がREGAL COREへ出資を行う運びとなりました。

なお、当社の主要顧客が運営するサイトやLPにおけるリーガルチェックは不可欠であることから、既存顧客の紹介を通じて、販売チャネル拡大も見込んでおります。

本提携により、広告業界の広告配信における健全化を目指し、当社グループの更なる企業価値向上を目指してまいります。

※ステルスマーケティング：広告であるにもかかわらず、広告であることを隠すこと。消費者がよ

り良い商品・サービスを自主的かつ合理的に選べる環境を守るためには、ステルスマーケティングを規制する必要があります。

2. 当該子会社の概要

(1) 名 称	JAPAN AI 株式会社
(2) 所 在 地	東京都新宿区西新宿 6-8-1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役・工藤 智昭
(4) 事 業 内 容	人工知能の研究開発、人工知能に関するコンサルティングサービス
(5) 資 本 金	4000 万円

3. 資本業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

REGAL CORE の提供するリーガルチェックサービスについて当該子会社が一部自動化する AI プロダクトの開発を行います。

(2) 新たに取得する相手方の株式又は持分の取得価額

相手先の意向により開示を差し控えさせていただきますが、当該子会社が新たに取得する株式の取得価額は僅少です。

4. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社 REGAL CORE	
(2) 所 在 地	東京都渋谷区渋谷 1-7-4 青山小林ビル 2F	
(3) 代表者の役職・氏名	田之上 隼人	
(4) 事 業 内 容	リーガルチェック事業	
(5) 資 本 金	1601 万円	
(6) 設 立 年 月 日	2021 年 4 月	
(7) 大株主及び持株比率	相手先の意向により非公開とさせていただきます。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

5. 日 程

(1) 取締役会決議日 (当 社)	2023 年 10 月 25 日
(2) 意思決定日 (当 該 子 会 社)	2023 年 10 月 25 日
(3) 契約締結日	2023 年 10 月 31 日

6. 今後の見通し

当該子会社による資本業務提携に伴う、2024 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上